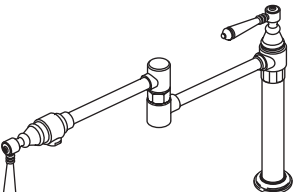


■設置後のチェック

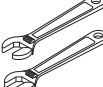
本体の設置完了後、下記項目を再度ご確認ください。チェックがつけば作業完了となります。

チェック	チェック項目
	連結箇所で水漏れがないことを確認する。
	取付位置をガスの両端から10センチ以上離す(ガスコンロ使用の場合)

■部品一覧

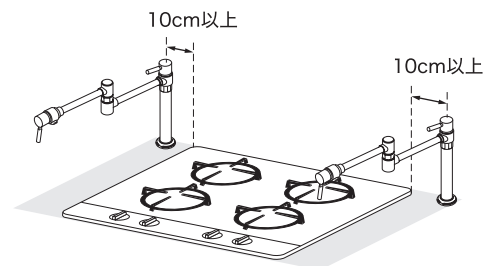
台座フランジ	台座フランジ用Oリング	ガスケットB	締付固定ナット
金属製(水栓と同色)  [裏面] ガスケットA 接着済 外径 57mm × 1	ゴム製  外径 27mm × 1	ゴム製  外径 48mm × 1	金属製 [上面] [斜面]  外径 36mm / 内径 27mm × 1
本体 			

■必要な工具

 プライヤー	 モンキーレンチ
--	--

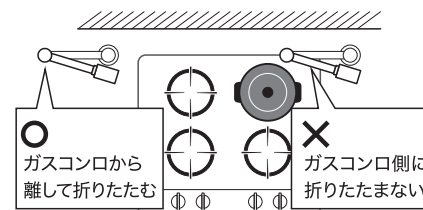
●図記号の説明  注意が必要な設置内容です。  実行しなければならない内容です。

■ガスコンロに併設する場合の注意事項



●本体は10cm以上離す

火力で水栓が高温となり火傷やパッキンが変形する恐れあります。本体はガスコンロの両端から10cm以上離して設置してください。



●調理中は本体を外側に向けて折りたたむ

調理中は、ガスコンロから離して折りたたみ、常に火元から遠ざけるようにお客様にご説明ください。

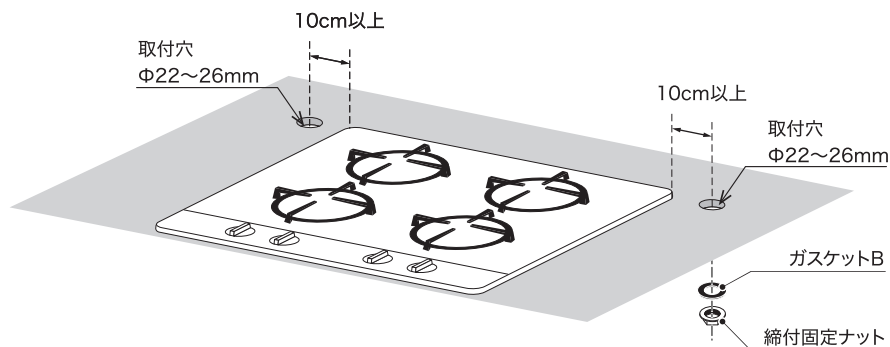
強火や長時間の調理により樹脂が変形し故障の原因になります。ご使用により起因した症状は製品不良には該当せず有償対応となります。

❗ 本体やキッチンを傷つけないように充分な養生を行い、常に周囲を注意して作業を行なってください。

■設置手順 ⚠ 給湯接続不可

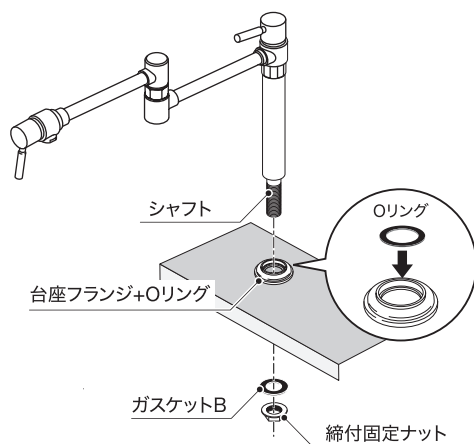
1 開口穴のサイズ確認

取付位置を決め、開口穴を設ける。



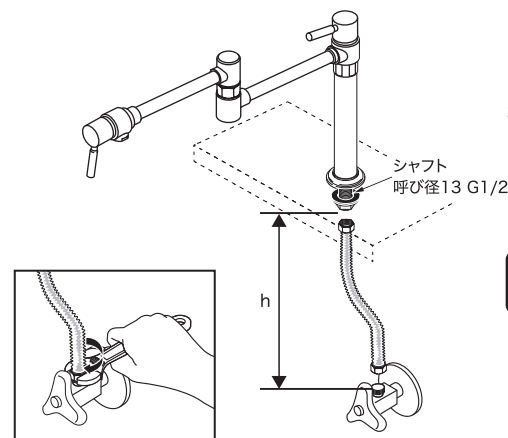
- 水栓を安定して設置するため、取付穴はΦ26mm以下にすること。
※締付固定ナット外径：Φ36mm。取付穴が小さいほど締付固定ナットが効きます。
- 天板厚さは最大76mm。

2 本体の固定



- ①本体のシャフトにOリング、台座フランジを通し、取付穴の上から差し込む。
※台座フランジの裏にガスケットA接着済。
- ②天板下からガスケットBをシャフトに通す。
- ③締付固定ナットを回し、本体を固定する。
- ④レンチで増し締めする。

3 フレキパイプの取付



4 汚れ出し・水漏れ確認

エアレータを外し、1分通水しゴミを吐き出す。
水漏れがないか確認し、終わったらエアレータを戻す。

